

リテラシー史研究会について

研究会のねらいと活動

リテラシー史研究会は、近代において読み、書くという行為がいかに形作られ、変化してきたのか、という関心のもと、関連する研究や調査、史料の保存、整理、公開を行ってゆくことを目的としています。

出版やメディア史、言語教育や読書環境の歴史、地域リテラシーの問題等、リテラシーの歴史に関わる多様な問題を考えてゆく場としたいと考えています。文学、教育学、歴史学等、分野を超えて学生や研究者が参加し、調査、研究スキルを高め、リテラシー史についての研究、調査の促進をはかってゆきます。

早稲田大学和田敦彦研究室が事務局、及び責任者となっていますが、早稲田大学のみならず他大学の大学院生や卒業生も参加しています。上記の問題に関心のある方であればどなたでも研究会の活動への参加を歓迎いたします。基本的には毎月1回程度の調査、研究会を行います。現在は以下のような活動を行っています。場所や日程については、リテラシー史研究会のホームページに適宜掲載されます。

- ・高美書店史料調査
- ・財団法人日本力行会蔵書調査
- ・早稲田大学図書館所蔵史料調査
- ・会誌の編集、発送業務、及び合評会
- ・海外日本語蔵書史料調査
- ・懇親会

会誌『リテラシー史研究』

近代において読み、書くという行為がどのように形作られ、変化してきたのか、という歴史への関心を共有しつつ、関連した研究、資料紹介等を幅広く行うための雑誌です。読書や書物の文化史、あるいは読者をとりにまく出版環境、流通の歴史、言語教育・教材史やメディア史など、リテラシーの形成や変化にかかわる幅広い問題をとらえてゆきます。また、こうしたリテラシーの歴史に関わる史料の保存、整理、紹介についても考えゆける場としたいと考えています。年に1回発行してゆきます。会では、会誌に掲載する原稿を募集しています。どなたでも投稿可能ですが、採否に関しては事務局にお任せください。

リテラシー史研究会事務局

東京都新宿区西早稲田一―六一―

早稲田大学教育学部 和田敦彦研究室

リテラシー史研究会ホームページ

リテラシー史研究会のホームページは以下の通りです。研究会への質問や連絡、調査の日程や参加などはホームページを通して可能です。また、メーリングリストや調査用のツールなども関連サイトにありますので、ぜひご参照ください。

リテラシー史研究会ホームページ

<http://www.f.waseda.jp/a-wada/literacy>

* 『リテラシー史研究』の発行については文部省科学研究費補助金基盤研究（C）「米国大学図書館における日本語蔵書史の調査、及びその情報の利用、共有化についての研究」の支援を受けています。